

特集 シリウス開館10周年

～シリウスからさらに明るい未来へ～

平成28年11月3日、図書館、ホール、こども広場、生涯学習センターが集う文化複合施設として誕生し、これまで累計2,638万8,459人(今年7月末現在)の来館者に親しまれてきました。

未来の和に つながる力へ

大和のポテンシャルを生かした
成長・発展

大和市文化創造拠点シリウスは、文化複合施設として開館から10周年という記念すべき日を迎えることとなりました。これもひとえに、市民の皆様のご支援とご利用のおかげです。心から感謝申し上げます。

シリウスはこの10年、人と人がつながり、文化を創り出す拠点として皆様とともに歩んでまいりました。それはシリウスに集い、学び、交流を深めてこられた皆様の成長の軌跡でもあります。

これからもシリウスを市民の皆様がつなげる居場所として、さらに進化させ、未来の大和の力にしていきたいと思います。本市の持つポテンシャルを最大限に生かし、すでにある資源を磨き上げ、次の10年、20年に向けて、希望あふれるまちづくりを力強く進めてまいります。



大和市長 古谷田 力

シリウスのここがスゴい！

累計来館者数
(7月末現在)
2,638
万人

年間来館者数
300
万人

視察数
6回連続
トップ10

施設全体の運営を束ねるやまとみらい統括責任者 山内賢治氏
と、図書館長 山口友理子氏にお話を伺いました。



視察数ランキング 6回連続トップ10入りの実力

全国の自治体や海外からも数多くの視察を受け入れ、その数は1,000件を超えました。シリウスを参考に、全国で多くの図書館が開館しました。シリウス以前に建設された図書館の多くは、「私語禁止」「飲み物禁止」。しかしシリウスはまったく逆の発想。人がどう居心地よく過ごせるかを考えた結果、お互い配慮しながら過ごす場所に、静かに過ごしたい人は読書室へ、という造りになっています。また、トイレの清掃など美観維持に気を付けています。そのほか、図書館にはどの時間帯にも司書が配置され、3階のこども広場には保育士が常駐しています。専門的知見を持つスタッフが多くいることもシリウスの特色です。



年間300万人！ 今も利用者に愛され続けるシリウス

300万人という数字は、動物園で日本一の来園者数を誇る上野動物園に匹敵するにぎわいであり、全国の図書館を含む複合施設でトップクラス。年とともに、普通なら来館者は減少していく傾向にありますが、シリウスの場合、令和6年度は294万人、同7年度は303万人と今でも高い来館者数で推移しています。我々はこれを、リーダーの数、来館頻度共に増えているからと分析しています。最初は本や自習を目的に来館した利用者が、講座やイベントに参加し、その中でできた友達と会うためにまた来館するのです。



あなたのわたしのシリウス活用法

あなたにとつて、シリウスはどんな場所ですか？ 学びの場、憩いの場、子育ての場、非日常を楽しむ場……。その答えは、訪れる人によって十人十色。今回はシリウスを訪れる幅広い世代のかたに話を伺い、それぞれの「わたしのシリウス」を教えてくださいました。



篠原紀子さん
(49歳・写真右)

開館当初は、幼稚園児の娘と通い、一日中過ごしました。子どもが小学生

になると、一人でシリウスに行かせることも。駅からの道が明るく、安心感があるため大変助かっていました。メインホールで行われた中学の合唱祭、舞台での娘の勇姿は一番の思い出です。子どもが成長した今では、一人で5階の本の棚に囲まれたコーナーで趣味の俳句を作ったり、自習室で書き物をしたりと、自分時間を楽しんでいます。

一般的に、図書館は静かですが、シリウスは家族でも気軽に立ち寄れる素晴らしい施設だと思います。



小須田壽久さん(78歳)

シリウスでの思い出といえば、平成31年、童話作家の森山京追悼企画朗読ライブ。人前で朗読をするのが長年の夢で、3回のワークショップを経て臨んだ本番は胸に迫るものがありました。平成29年のオペラ赤ずき

んは、市民公募で木こりのリーダー役として出演。観覧に誘った近所の子から「おじちゃん、よかったよ」と花束を受け取ったときは、とてもうれしかったです。健康都市大学では市民講師として10回ほど教壇に立ちましたが、そのために勉強し、パワーポイントも使えるようになりました。詩吟を長くやっていて、以前は中央文化会館(旧生涯学習センター)で発表会をしていました。初めてシリウスのホールを使ったときは、声の反響の素晴らしさに圧倒され、「おれ、こんなに上手になったと勘違いするくらい(笑)」。シリウスができて本当によかったです。



本庄さん(30歳)

月2回のシリウス来館に助けられています。絵本や編み物の本を借り、子育てイベントに参加して、ちびっこ広場で遊び、テラスでご飯を食べて帰る。そんな一日が、ずっと家にこもり赤ちゃんと向き合う日々の息抜きになっています。イベントを通じて知り合え、悩みを相談したり、3階で待ち合わせて一緒に子どもを遊ばせたりしています。



高橋美聡さん(9歳)

お兄ちゃんが借りた図鑑の返却で来ました。漫画が大好きなところがあるところが好きで、今日は「名探偵コナン」を読みました。帰りにやまと公園(プラストリーパーク・やまと)で遊べるのも気に入っています。



鈴木さん(40代)

シリウスに来るのは2回目。本を読んだり作業をしたりしようと思い、少し遠いですが電車で乗ってきました。健康テラスの講座が気になったので、これから、飛び入り参加してみます。講座後は、市民交流ラウンジでゆったり過ごしたいと思っています。

山口さん(84歳)



開館当初から、週5日通っています。5階の読書室にすることが多いです。常連さんたちとは顔なじみで、会えば言葉を交わすし、昼にお弁当を持って6階の交流スペースで毎日話す人がいます。引地川の歴史の話などを生涯学習センターで聞き、学びがありました。シリウスは、多くの人の居場所になっていると思います。



ピヤンカさん
(46歳・写真中央)

スリランカ出身です。シリウスには毎週末、子どもたちの本をたくさん借ります。私は日本語を読むのが苦手ですが、息子が和食好きなので、以前、英語と日本語の両方で書かれている料理の本を借りて勉強しました。今では、みそ汁、おでん、たこ焼きなどを作りますし、家族でギョーザを包むことも。家で日本のおいしい料理が食べられるのも、シリウスのおかげです。